



## アーバンガーデンを学びの場にするには どうすればよいか？

### 課題

アーバンガーデンは、個人レベルでも集団レベルでも様々なスキルや知識が形作られる、重要な学びの場である。これは、アロットメントガーデンでも、コミュニティガーデンのような新しい形のガーデニングプロジェクトでも同様である。

集団レベルで見ると、ガーデンは内部メンバー同士の対立や新しいメンバーの統合に対しどう対処するか、場所が使えなくなることにどう反応するか、そして政治的にどう動いていくかについて学ぶことができる空間である。ガーデナーは持続可能性や環境に関わる問題について知識を得て、どのような植物を栽培するか学ぶことになる。さらに、ガーデンは異なる社会的集団と交流し、友情を築くことができる素晴らしい場所である。

しかし、アーバンガーデンでこのような多様な学びが可能であるにも関わらず、その可能性は必ずしも十分に活かされているわけではない。スキルや知識はまだ最大限まで深められても、普及されてもいない。

このファクトシートは、アロットメントとコミュニティガーデンのガーデナーにどのように学びを支援し、スキルや知識をガーデナーに伝え広げていくか、情報を提供するものである。



図2 - コミュニティミーティングの間に水やりをするガーデナー。ムスティカマ・エディブル・パーク(フィンランド、ヘルシンキ)にて。写真: Krista Willman



図3 - 収穫の仕方をとともに学ぶガーデナー(フィンランド、タンペレ)。写真: Krista Willman

## ガーデナーとガーデニンググループへのメッセージ

### 共同の学び

- 公共性はアロットメントとコミュニティガーデンのどちらにおいても学びの重要な要素です。
- ガーデニング活動中の共同のアクションにより、知識をシェアし、学ぶことができます。
- 栽培に関する問題について、近くのガーデナーに助言を求めたり、共同のガーデニングやイベント、ミーティングのときに経験とガーデニングのコツを伝え合う機会を設定したりすることで、みんなが互いに学び合うことができます。
- 理想的には、共同の学びはガーデン外の近隣地区まで広がっていくべきでしょう。
- 近隣住民や協会や小さな企業、公共機関などの関係者との協力は知識の交換や共同の学びを進めるものとなります。

### 学びのプロセス

- 学びとは単に新しい知識やスキルを得るだけでなく、決まった解答を見出せない問題をガーデナーやガーデニンググループがどうにか対処するための、創造的なプロセスでもあります。たとえば、雑草や害虫への対処の仕方や、新しいメンバーをガーデンになじませる方法といった問題があります。
- 獲得した新しいスキルや知識を実際に使うことは、ガーデナーが問題を解決するのに役立つでしょう。

### 様々な学びの形

- コミュニティガーデンが新しいほど、共同の栽培の機会を設けやすく、新しいスキルや知識をみんなで得るための空間もつくりやすいです。
- 新しいガーデニングの活動形態は、若い利用者層やより形式ばらないメンバーシステム、そこだけの独特のルールを持つのが典型的な特徴です。
- 共同の学びはアロットメントガーデンでも起こります。利用者組織では、大抵公式の文書に記された形式ばったメンバーシステムやルールが設定されています。こうした状況では、学んだりスキルを共有したりすることは、個々のガーデナー同士のなかで起きるものです。
- しかし、どちらのガーデンタイプでも、次のページに示すような様々な形で学びを支援することができます。

## 関連情報

### 事例紹介

**カレヴァンハレユ・コミュニティガーデン**はフィンランドのタンペレにあり、2013年に教会の音質があつたブラウンフィールドに設立された。50の袋と箱でガーデニングに取り組むおよそ15の活発な市民によるグループがあり、共同で作業を行い、収穫物をシェアしている。ガーデナーは毎年夏に苗を植え方や栄養の与え方、堆肥の作り方について教えるイベントを地域の組織とともに催している。

**ランドホーフコミュニティガーデン**は2011年にスイスのバーゼルで設立された。地域のアーバンアグリカルチャーのネットワークに属するボランティアグループにより活発に運営されており、自治体のガーデニングに関わる行政課に支援されている。ガーデンは誰でもアクセスすることができ、参加したり生態系にやさしいガーデニングや持続的な生活の仕方について学んだりすることもできる。小さなコンサートのような定期的な文化的なイベントに加え、共同のガーデニング活動も週2回行われている。



図4- 園芸家とともに次のシーズンに向けて輪作を計画中。カレヴァンハレユ・コミュニティガーデン(フィンランド、タンペレ)にて。写真: Krista Willman.



図5- ジャガイモについて学ぶ子ども(タンペレ、フィンランド)。写真: Meri Lampinen.

## ガーデナーとガーデニンググループへのアドバイスメモ

### 観察

- 季節ごとに成長を観察し、生育実験を行うことは素晴らしい学びの手段となります。

### 多様性

- 新しい学びを促すために、様々な背景をもった人々を巻き込みましょう。たとえば異なる年齢層や国籍、ジェンダー、社会背景や職業の人々が考えられます。
- ガーデナーの背景が多様になると新しい植物やガーデニングの仕方を取り入れることができます。
- 異なる分野の専門家は、ガーデニング団体に園芸的な知識や技術的な解決方法、交流面での実践的知識を授けてくれます。

### 指導体制

- 経験の豊富なガーデナーは初心者を助けることができます。
- 組織は、経験豊富なガーデナーに新しい参加者の指導・相談役になってもらえるよう、提案するとよいでしょう。

### 全体ミーティング

- 毎週あるいは毎月、ミーティングをしましょう。
- 週末に植え付けや草取り、収穫作業を設定しましょう。
- 近隣住民にイベントについて知らせるため、地方紙やfacebookページ等のコミュニケーション手段を使いましょう。

### 共用空間

- ガーデナーが集まってリラックスできる共用空間をつくりましょう。

### 知識のプラットフォーム

- ソーシャルメディアや掲示板(たとえば倉庫の壁に冊子を下げるなど)を使って、知識とガーデニングのコツをシェアするためのプラットフォームをつくりましょう。

### 学校のイベント

- アーバンガーデンは子どもたちが直接自然と触れられる素晴らしい学びの空間です。
- 地域の学校やプレイグラウンドに連絡を取り、ジャムやペーストづくりなどのみんなで行うワークショップに興味があるか問い合わせてみましょう。
- 学校に通う子どもたち用の区画を用意し、子どもたちや先生の補助をする体制もつくっておきましょう。

### オープン・ガーデン・ユニバーシティ

- 専門家やガーデナーによる講義を毎月開き、知識をシェアする機会を作りましょう(たとえば何かしらのプロジェクトや、植物のある種類、特殊な栽培技術についてなど)。
- 農村と都市が出会えるような機会をつくりましょう。たとえば農家を招いて、農村的な見方から農作業の実践について議論する機会などが考えられます。
- 講義は興味を持つかいかなる人にも公開されるとよいでしょう。
- 定期的な講義はガーデナーに知識をいかに伝えるか、学んでもらう機会となるとともに、様々な人を呼び集める効果も持ちます。

## 関連情報

### 役立つリンク集

スイス・バーゼル緑に関する活動をつなぐ地域ネットワーク: <http://urbanagriculturebasel.ch>

イギリス・ブリストルのコミュニティでの食料生産運動: <http://ediblebristol.org.uk/>

フィンランドのアーバンガーデニングの試験的取り組み: <http://kaupunkiviljely.fi/brief-in-english/>

キッチンコミュニティ・アーバンガーデニングを通じて子供たちはガーデニングスキルとコミュニティ形成を学ぶことができる(アメリカ): <https://thekitchencommunity.org/about-us/>

アーバンガーデンを成功させるための助言が得られるウェブサイト: <http://urbangardenguide.com>

著者

Krista Willman<sup>1</sup>, University of Tampere, Finland

Nicola Thomas<sup>2</sup>, University of Applied Sciences, Basel, Switzerland

Patrick Oehler, University of Applied Sciences, Basel, Switzerland

Timo Huber, University of Applied Sciences, Basel, Switzerland

corresponding authors: <sup>1</sup>krista.willman@uta.fi; <sup>2</sup>nicola.thomas@fhnw.ch

翻訳:新保 奈穂美 (Naomi Shimpo), 筑波大学, shimpo@nenv.jp

インフォシリーズ | 1版 言語:日本語 (JAPANESE) | オンライン発行日:2016年12月1日

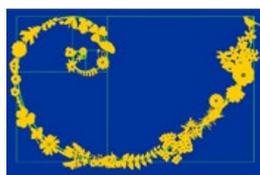


COST (European Cooperation in Science and Technology、欧州科学技術研究協力機構)は  
欧州全域の政府間で形成されたフレームワークです。  
その使命は科学的および技術的な発展により新たな概念や産物をもたらすこと、  
それによって欧州における研究および革新の可能性を高めることです。

[www.cost.eu](http://www.cost.eu)



COSTはEUの研究・イノベーション枠組み計画「Horizon2020」に支援されています。



謝辞

このファクトシートはCOSTが支援する「COST Action TU1201 Urban Allotment Garden in European Cities」  
の成果にもとづいて作成されました。

[www.urbanallotments.eu](http://www.urbanallotments.eu)



「欧州のアーバングーデン」に参加しましょう:

<https://www.facebook.com/groups/825421310826607/>